



光触媒 NFEシリーズ 最近の状況

株式会社ケミカル・テクノロジー 代表取締役
兼 ブルネイ大学理学部 北村 透

ホームページ <http://www.chemical-tech.net/>

今回は北村さんの開発した光触媒「NFEシリーズ」最近の状況についてお伝えします。

新型コロナウイルスの影響で、「抗菌」「消毒」に関して、必要とするお客様が増えているのも事実ですし、テレビコマーシャルを展開している会社も出てきました。

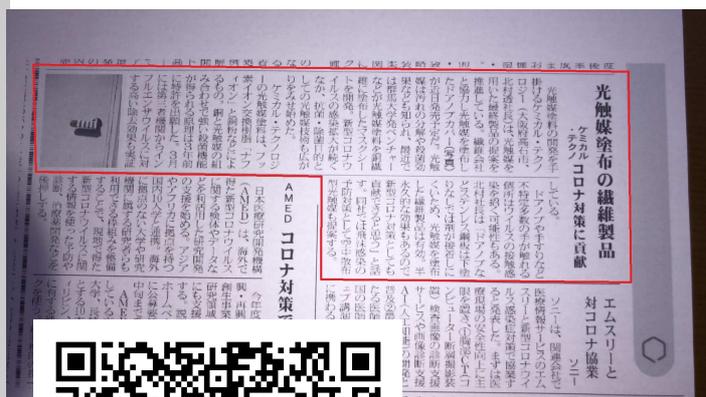
ただ、「ここぞとばかり」に高額な見積りを提示している業者も多くいるようで、それはそれでどうなのか？と思う部分もあります。

もちろん商売ですからどんな見積りを提示するかはその業者の自由ですが、日本を磨く会としては他の事と同様に正しい情報をお客様に提供し、適正価格でサービスを提供出来ればと考えております。

まずは、「化学工業日報」の記事

↓こちらは紙面でのご紹介

↓こちらがHPでのご紹介文章



←こちらから
ご覧になれます。

光触媒塗料の開発を手掛けるケミカル・テクノロジー（大阪府高石市、北村透社長）は、光触媒を用いた最終製品の提案を推進している。繊維会社と協力し光触媒を塗布したドアノブカバーが近日発売予定だ。光触媒は汚れの分解や殺菌効果なども知られ、最近では群馬大学発ベンチャーなどが光触媒塗料を銅繊維に塗布したマスクシートを開発。新型コロナウイルスの感染拡大が続くなか、抗菌・除菌目的としての光触媒技術も広がりを見せ始めた。

ケミカル・テクノロジーの光触媒塗料は、フッ素イオン交換樹脂「ナフィオン」と銅粉などによるもの。銅と光触媒の組み合わせで強い殺菌機能が得られる原理は3年前に特許を出願した。3月には第三者機関からインフルエンザウイルスに対する高い除去効果も実証している。

ドアノブや手すりなど不特定多数の手が触れる箇所はウイルスの接触感染を招く可能性もある。北村社長は「ドアノブなどステンレス銅板は下塗りなしでは剤が接着しにくい。光触媒を塗布した繊維製品は有効。半永久的な効果もあるので新型コロナウイルス対策としても貢献できると思う」と話す。同社では飛沫感染の予防対策として空中散布型光触媒も提案する。

こちらは、東京銀座のクラブが店内全面に光触媒を施工した紹介動画です。

YouTubeで見ることが出来ます。

夜のお店は大変ですから、このように対応し少しでも客足を戻そうとお考えのようですね。



最後は「湘南美容クリニック」さんが新宿本院に屋内コーティングを採用するというプレスリリースです。



湘南美容クリニック、抗菌抗ウイルス銅イオン光触媒による屋内コーティング採用

酸化チタン・銅・銀による銅イオン光触媒「クリーンプロテクション®NFE2」による屋内コーティングで、withコロナ時代の安心・安全なクリニック空間づくりを実現。

ハーツリッチ台同会社 ハーツクリーン事業部

2020年6月22日 12時11分



ハーツリッチ合同会社ハーツクリーン事業部（本社：神奈川県藤沢市、代表社員：穂苅英樹、以降ハーツクリーン）は、湘南美容クリニック新宿本院に、withコロナ時代のクリニックの安心・安全な空間づくりとして、世界初*1の酸化チタン・銅・銀を掛け合わせた、抗菌・抗ウイルス銅イオン光触媒「クリーンプロテクション®-NFE2」（以降クリーンプロテクション®）による屋内コーティングの採用が決定したことをお知らせいたします。

本クリーンプロテクション®は、屋内で燻蒸することにより、コロナウイルスなどのウイルスやカビの接触感染を予防し、安心・安全な屋内空間をつくることを目的に開発された薬剤です。本クリーンプロテクション®は、販売代理店である株式会社トップチャンネル（本社：東京都港区、代表取締役社長：阿部かな子、以降トップチャンネル）よりご入手頂けます（問い合わせ先：03-5730-6166）。

■湘南美容クリニックが、抗菌・抗ウイルス銅イオン光触媒による屋内コーティングを採用

湘南美容クリニック新宿本院では、世界初の抗菌・抗ウイルス銅イオン光触媒「クリーンプロテクション®」を採用し、待合室の屋内を薬剤で屋内コーティングすることにより、壁やドアノブ、床などを經由した接触感染のリスクを大幅に下げる予防策を導入することにしました。

湘南美容グループの相川佳之代表は、「当院では、お客様に安心・安全な空間づくりを提供するため



日本を磨く会の中でも、たばこの消臭、カビの消臭などに活用し良い結果が出ているというご報告を頂いております。

今後、さらに様々な場所で活用されていくと思います。

是非、ご活用下さい。